

事務局だより

2014年7月

農業協同組合研究会 事務局

1. 第1回理事会と第10回総会の開催について

6月28日（土）、第1回理事会を開催し第10回総会の議案について協議し、その後総会を開催しました。総会では提案した議案はすべて原案通り可決されましたが、主な内容は下記の通りです。なおその詳細については第10回総会資料をご参照ください。

（1）2013年度（第9期）の事業報告および収支決算について

事業報告では当初計画にしたがい研究大会、現地研究会を開催しましたが、小研究会が開催できなかったことおよびホームページの活用もほとんど行われたかったことが課題とされました。

一方収支決算では次年度繰越額が多くなっているのは総会開催が遅れたため、本来旧年度で支払うべき経費が新年度に繰り越されたためで、総会でも了承されました。なお支出費目では従来の「基盤充実対策費」を「印刷費」に名称変更しました。

（2）2014年度（第10期）の事業計画と収支予算について

事業計画はほぼ前年度通りですが、第9回現地調査については10月初旬開催で、佐渡を第1候補として提案した結果、総会で確認されました。従いまして事務局としては現地農協と協議を進める予定です。また、小研究会の開催とともにホームページについては理事が率先して投稿し活性化を図ることになりましたので、会員の皆様のご協力もお願いします。

（3）役員の補充について

理事の藤谷築次氏（京都大学名誉教授）から健康上の理由で退任の申し出があり総会で承認されました。また、監事であった山内偉生氏（協同組合懇話会常務委員）が昨年7月逝去されたため、理事会として後任に福間莞爾氏をお願いし、総会で追認されました。なお、規約上理事定数は規定されていないので、藤谷氏の後任は補充しません。

2. 第10回研究大会について

総会の後に第10回研究大会を開催しました。参加者は60名以上に達し盛会でした。当日の報告資料をお送りしますが、詳細については農業協同組合新聞（2014年6月30日）号を参照してください。

3. 研究会の活性化について

研究会の活性化を図るうえでもホームページの活用が重要です。事業計画でも述べましたが、会員の皆さんからも積極的な投稿をお願いします。また、本研究会の会員動向は総会資料で明らかなですが、期待されている役割を果たすためにも会員拡大も重要です。皆さんのご協力をお願いします。

4. その他

今後とも関係資料の送付に努めますが会員の皆さんのご希望があれば事務局までご連絡ください。